

令和2年度食農教育改革（全体計画）

○学校の5つの教育目標

- 1 【自主】自ら考え、行動する人間を育てる。
- 2 【創造】個性と創造力豊かな人間を育てる。
- 3 【探求】自己の在り方生き方を探求する人間を育てる。
- 4 【開拓】自らの人生や未来社会を開拓する人間を育てる。
- 5 【貢献】社会や地域に貢献する人間を育てる。

農業教育を通じて育てたい生徒像

- 1 自主的・主体的に、体を動かすことをいとわずに取り組む力
- 2 実践的・体験的な学習活動を通して、創造的に課題を解決する力
- 3 専門的な知識と技術を深め、探求し、発展させる力
- 4 生命を尊び、環境と向き合い、自然と調和した生き方を開拓する力
- 5 環境保全及び資源活用の視点で社会に貢献する力
- 6 協働的な学習活動を通して、他人と協力しながら段取りよく物事を成しとげる力

本校の食農教育について、施設を生かし、卒業後の進路を意識させ、組織的に取り組む。

課題

- 1 食農系の進路ではない生徒に育む力とそれを培う指導法が確立されていない。
- 2 食農系の学問や職業を考えて、食農系への総合選択科目を履修する生徒が少ない。
- 3 食や環境系への進路や職業に関する全体的なキャリア教育が十分でない。
- 4 食農関係への進路が切り拓かれる総合学科高校であることが広く知られていない。

対策

- 1 食農系の進路ではない生徒に育む力とそれを培う指導法を確立する。
 - (1) 多様で先進的な内容の授業・実習への取組
 - (2) 農業関連の産業従事者による農業講演会の実施。(産社)
 - (3) 地域・他校・専門機関等と連携した取組
 - (4) 圃場の効率的な活用を進め、先進的な授業を展開する。
- 2 食農系の学問や職業を考えさせ、食農系への総合選択科目を履修する生徒を増やす。
 - (1) 農業系の様々な進路についての説明（「農学辞典（東京農大）」「農系学校進学ガイド2018（イカロス出版）」等を参考）
 - (2) 農学部系大学教授による生徒向け講義の実施
 - (3) 農学・獣医学・生物環境系大学進学相談会への参加
 - (4) 農業系の資格取得・検定・コンクール等への参加
 - (5) 農業系インターンシップへの参加（2年）
- 3 食や環境系への進路や職業に関する全体的なキャリア教育を推進する。
 - (1) 卒業研究での農業系テーマ選択者への個別指導の充実
 - (2) 農業系の進路実現に向けた個別指導
 - (3) 農業系大学見学（年間3回）
 - (4) 新農業人フェアへの参加（年4回）
- 4 食農関係への進路が切り拓かれる総合学科高校であることを広く周知する。
 - (1) 総務部と連携した学校案内等資料へ食農教育改革を打ち出し、広報活動を充実させる。
 - (2) 授業や実習、農業系大学講義ゼミ等の教育活動をホームページやツイッター等へ掲載し、食農関係への進路が切り拓かれる総合学科高校であることを広める。
 - (3) 「水田教室」や「芋掘り教室」等の小・中学校連携事業や中学校への「出前授業」を強化し、食農関係への進路が切り拓かれる総合学科高校であることを広める。

1 農業科選択科目の選択者増加 2 卒業研究での農業系テーマ選択者の優れた研究成果 3 農業関連大学への進学者1割以上